

川崎市議会議員



浅野文直

あなたの視点

川崎市議会報告第24号

政策ブックレット



守るべき人がいる
守るべき町がある

<http://2370.net>

体験

わが子が何度も救急車で運ばれ、小児特定疾患として長期間国立小児病院に入院した体験から、小児救急医療の充実・体制整備による救急ストップゼロの実現を使命と考えます。



子育ての「悲しい思い」をなくしたい!

現状



南部小児救急センター

南部小児救急センターでは、北部小児急病センターの様に医師会等への委託が進まない為、川崎病院内で川崎病院の医師が対応している。

年間小児救急患者数:17,258人(北部は14,383人)

救急ストップ:1回平均143分(北部は0分)

課題

○南部小児急病センターは、市立川崎病院で受け持っているが、年間50万人近い一般外来の他、入院患者や救急外来の対応に追われ、病院内は常に戦場と化している。その為、やむを得ず小児救急ストップが発生している。

○川崎市中部地域のカバー

○市立川崎病院が高度医療や総合周産期医療に対応する為の役割分担やトリアージの促進が必要。

対策

■この4年間の取組で救急ストップの延べ時間は1/7程度まで減り、1日平均のストップ時間に換算すると20分程度まで縮減出来ました。しかし、ストップゼロにしなから川崎病院の小児医療の崩壊を避けねばなりません。医師を集めやすい高度ネットワークの形成が急務!

■北部急病センターのような委託化!

■中部小児急病センターの開設!



安心して出産 できる街へ

総合周産期母子医療センターにて

インシュー

- 全国的な産科医不足
- 川崎市の年間出産数は約14,000人
しかし分娩応需能力は約10,000人
- 出産の高齢化による高度医療の必要性
- MFICU、NICU、GCUの稼働率の高さ



サユーション

- ☆安心して勤務出来る体制
・高度ネットワークの構築!
- 周産期医療ネットワークの推進
- 医師への法的バックアップ
- 院内保育所、分娩手当の拡充
- 産科医師への報酬の引き上げ
- 平成23年度NICU3床、GCU6床の増床

一人の親として、また川崎市幼稚園
父母の会連合会の会長を3年間務め
て、幼稚園教育の向上と保育料補助
増額に全力投球!

快適な子育て のできる街へ



幼稚園の運動会にて

インシュー

- ①幼稚園の保育料補助は近隣都市に
比べて低い(世田谷区・大田区の約半分)
- ②2500人を超える保育園の待機児童
- ③2億円を超える保育料滞納と保育園運営
の公費節減



サユーション

- ①圧倒的に幼稚園児が多く、税の公平な
分配からも大幅増額を目指す。
- ②公設民営園や駅前保育園の新設・
多機能化
- ③厳しい収納指導と民営化



万一の 児童養護

慰問に訪れた施設にて

連日報道される児童虐待のみならず、
様々なコミュニティが壊れている現代。
万一あなた方に何かあった時に最低限
任せられる行政サービスを創りたい

インシュー

- 児童養護のニーズが増加
- 一時保護の7割が長期化
- 家庭的な養護が必要
- 専門的な相談体制が必要
- 里親登録者の高齢化



サユーション

- 平成23年4月以降、順次、児童相談所
や乳児院を新設
- 年1箇所、グループホーム型養護施設
の設置
- 児童精神科医など専門的支援員の強化
- 里親の負担軽減や研修等の充実

あなたの街、川崎

「大都市比較統計年表から見た川崎市」という政策資料があります。政令指定都市を含む18の大都市の指標を比較したものです。最新の資料から私達の街がどのような特徴をもつのか確認してみましょう。

どんな人が 住んでいる？ 【人口】

川崎市は大都市の中でもトップクラスの若々しい街です。転出率が高いのが難点で、住民に気に入られる「終の棲家」になる街づくりが必要です。男性に比べ女性が少ないのも特徴です。

生産年齢人口 (15歳～64歳)	72.2% 【第1位】
老年人口 (65歳以上)	14.6% 【第18位】
人口増加率	1.45% 【第1位】
出生率	1.05% 【第1位】
転入率	7.99% 【第1位】
転出率	6.97% 【第2位】
性比 (女性100に対しての男性)	106.8% 【第1位】

子育て支援、就労支援が急務！
老後の安心できる環境整備が必要！
女性にとって魅力ある街づくりが必要！

どんな家族が すんでいるの？ 【世帯類型】

住環境としての川崎市は特段魅力的ではないようです。「終の棲家」と思っていない人の多さが表れています。

- 世帯あたりの人員 2.17人 【第14位】
- 65歳以上の親族のいる世帯 22.5% 【第15位】
- 持ち家比率 45.2% 【第13位】
- 共同住宅比率 70.5% 【第2位】
- 新設着工における分譲マンション割合32%【第2位】

共同住宅に住む核家族が多い！
定着を前提としない層が多い！

こどもの 遊び場は？ 【公園】

早くから都市化が進み、十分な公園面積が取れていない。

- 都市公園面積 512.66ha 【第17位】
- 市民一人当たりの都市公園面積3.69㎡ 【第16位】

緑と憩いの場の保全が必要！
都市農業の育成保全が必要！

安全な 街なの？ 【治安・防災】

犯罪や交通事故の発生件数は人口比では低い。

- 火災出火件数(人口1万人当たり)3.3件 【第12位】
- 刑法犯認知件数(人口千人当たり)12.7件 【第15位】
- 交通事故件数(人口10万人当たり)369.6件 【第18位】

川崎市はイメージよりも安全な街！



守るべき人がいる
守るべき町がある

老後は どうなの？ 【介護・病院】

人口規模や年齢構成から見ても、要介護認定者数・給付支払い金額ともに少ないが…。

- 要介護(要支援)認定者数 34,759人 【第12位】
- 保険給付支払い総額 449億8,700万円 【第12位】
- 人口10万人当たり一般病院病床数645.2床 【第16位】

今後急速な高齢化が迫る！

介護施設、療養病床などの整備が急務！
施設整備と共に、予防介護の充実が必要！

行政と街の お金の流れは？ 【財政・経済】

- 市内経済成長率(実質) 2.5% 【第2位】
- 市民所得(一人当たり) 357万円 【第3位】
- 自主財源比率 69.9% 【第3位】
- 財政力指数 1.08% 【第2位】
- 実質公債費比率 15.6% 【第4位】

市民所得の高さに支えられ、自前の財源が豊かだが、
公債費に起因する財政負担の大きさも見逃せない！
財政健全化が急務！

どんな仕事 があるの？ 【産業】

工業従業者の減少が進む中、先端技術に関わる情報産業の躍進が目立ちます。また、資本金階級別企業者割合では、500万円未満の企業が44%と他都市に比べて中小企業が多いのも歴史的な特徴です。

- 従業者数 488,613人 【第11位】
- 工業従業者対前年度増加率 -0.7% 【第4位】
- 学術・開発研究機関従業者割合 3.68% 【第1位】
- 情報サービス業従業者割合 5.5% 【第2位】

工都川崎から情報産業都市かわさきへ！

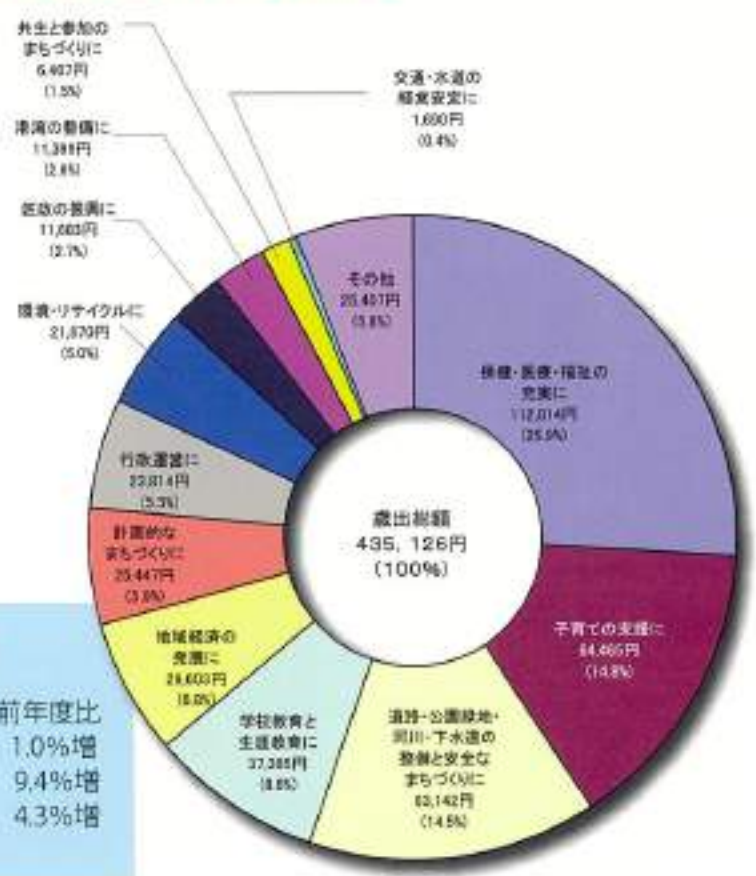
若々しい先端の街づくり そんな可能性を 「川崎」は持っています！

あなたの税金の使われ方

2011年度版 市民一人当たりの予算額と 市税の使いみち(案)

平成23年度一般会計予算案では、市民1人あたりに換算すると市税等の額は約20万円となり、これに国や県からの補助金・交付金・市債などを加えて、総額43万円を財源に下記の事業を検討しています。

※ 予算額では、それぞれの事業の財源として過去に発行した市債の返済額などを含みます。



平成23年度予算案 (億円)

会計名	予算	前年度比
一般会計	6,180億円	1.0%増
特別会計(13会計)	4,848億円	9.4%増
企業会計(6会計)	2,214億円	4.3%増

<http://2370.net> で川崎市の借金時計をCHECK!

平成23年度始めの一般・特別・企業の3会計の市債残高は1兆5267億7242万円です。この額に対して一年間の増加額は231億1027万円です。下記のペースで借金が増えている計算になります。

1月で	19億2585万6000円
1日で	6419万5000円
1時間で	267万5000円
1分で	4万6000円
1秒で	740円

1家庭あたりの借金は500万円を超える膨大な金額になります。これから市民の快適度を損なうことなくできる限りこの借金を抑えていく、そして減らしていく思考を全議員、職員が持たねばなりません。

川崎の借金時計

1兆5267億7242万円

あなたの家庭の負担額は...

5万円

守るべき人がいる
守るべき町がある

改革のゆくえ

NON STOP!

川崎市はこれまで法よりも労使交渉を優先する体質的構造欠陥を持っていました。ここに更なるメスを入れ街のオーナーである市民が納得する行財政改革が必要です！

行政改革

平成14~22年度(進行中) 第一次~第三次行政改革プラン

- ・2,509人の職員削減
- ・7つの出資法人を削減
- ・特殊勤務手当を55手当から12手当へ
- ・給与表・水準の引下げ
- ☆その他の改革も含めて702億円の効果

平成23~25年度 第四次行政改革プラン

- ・さらに600人の職員削減
- ・ゴミ収集業務や守衛業務の民営化
- ・5つの出資法人の統廃合
- 財政フレームの収支均衡を図る
- ☆その他にも多くの項目に着手して
130億円の効果を目指す

+

こうした効果を小児医療費助成の拡充や私立幼稚園保育料補助の増額、小中学校の冷房化、学校トイレ快適化などに還元しています。

子や孫に、誇りをもって “ふるさと”を引き継ぐ為に

NON STOP!

これまで、議会運営委員会副委員長、又は一委員として改革路線を敷いてきました。これを止める事なく、地方分権に相応しい議会へと改革を進めます。

議会改革

近年の議会改革

- 定数を3削減
- 政務調査費の全公開
- 広報の拡充
- 川崎市議会基本条例の制定
- その他、18項目を改善

効果

- 費用弁償廃止で
年間約3,000万円の削減
- 定数削減で
年間約6,000万円の節減

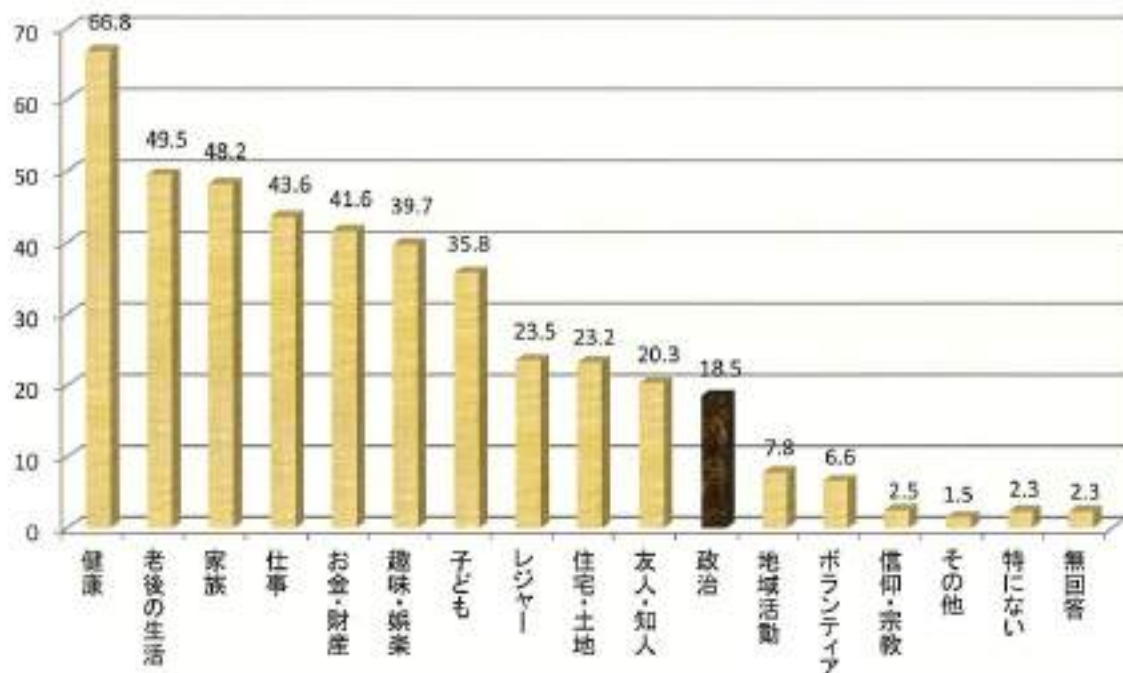
今後

- 予算審査特別委員会の常設
- 市長専決処分事務の見直し
- 議員定数・政務調査費
の更なる見直し
- 速記官のあり方
-etc

あなたの関心は？

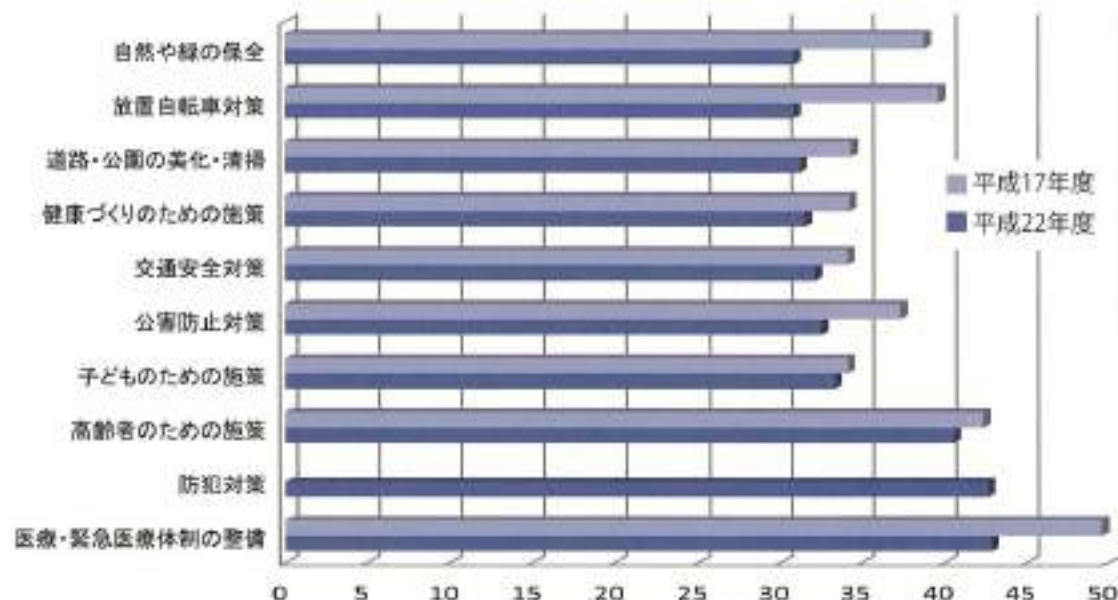
市民の関心

政治がうまく回っている間は、市民は政治への関心は持たないといわれます。四年前の調査では10%だった政治への関心が、今回の調査では18.5%と、実に倍近くになっており、国政をはじめとする政治へのフラストレーションを感じます。



市政に今後力をいれてほしいこと

医療・治安・老後の3つのカテゴリーが上位を占めています。やはり将来に対する長期的な不安感を軽減する施策を求められていることがわかります。



注)「防犯対策」は平成18年度からの調査項目
(平成22年 かわさき市民アンケートより)

守るべき人がいる
守るべき町がある

浅野文直の通信簿

名前 あさのふみなお 君 学年 3期生 年齢 40才

評価	科目
あと 一歩	<p>■小児救急医療の緊急整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日平均2時間近く救急ストップがおきていたが、当直を2名体制にするなど1日平均17分まで縮減。
もう ひといき	<p>■行財政改革の断行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人員削減(8年間で2509人)、給与引下げはもとより、出資法人役員の給与にメス ・事業仕分けの手法で、天下り出資法人保健衛生事業団を統廃合へ。 ・直近3ヵ年で市有地売却、市有地の貸付、自動販売機設置場所貸付で6億2823万円を捻出。平成23年度も4億487万円を予定 ・投票事務における週休日振替制度を徹底させ794万円の縮減。 
もっと せよ ほしいやう	<p>■子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園保育料補助は新政権で国の補助が減った分を市で上乗せして維持。これまでの活動の成果として平成23年度は25359人に48000円～303000円を支給。 ・保育園は平成20年度に535名の枠増、21年度に820名の枠増、22年度に1070名の枠増、23年度に1230名の枠増。更に今後3年間で4310名以上の枠増を実施。
もう ひといき	<p>■交通インフラ整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鷺沼駅～聖マリアンナ病院間の新設バス路線は、鷺沼駅内のバスベイが確保できない為、駅前再整備・橋上駅舎化を協議中。 ・有馬・東有馬コミュニティバス実現に向け何度も議会で取り上げ、平成21年3月に運行実験をし、平成23年度に試験運行予定。
もっと せよ ほしいやう	<p>■介護保険制度と障害者施策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年6月定例会にて、ふれあいデイサービスの委託基準変更。 ・平成22年12月定例会にて、南部障害者入所施設の設置を第3期実行計画に位置づけ、一刻も早い開所を目指す。
もう ひといき	<p>■官製談合の撲滅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄事業に始まり、登戸駅ペDESTリアンデッキ、下水道事業などを追求してきたが、小規模指名競争入札でも寄せられる情報を精査して入札要件を変更させる事で落札額が大幅に下がっています。
もっと せよ ほしいやう	<p>■ドッグラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ提案により平成20年4月に東扇島緑地に川崎市初のドッグランが設置されました。 ・今後は都市公園へのタイムシェア型ドッグランの設置を目指します 

あさの君の政治資金

収支報告や給与明細は

<http://2370.net>

浅野文直 「あなたの視点」川崎市議会報告 討議資料

議会での論戦一覧

■平成23年3月4日(予算審査特別委員会)

- ・小児救急ストップ対策について
- ・出資法人役員の給与について
- ・ジェネリック医薬品の普及について
- ・AEDと市民救命士の普及育成について
- ・交通局運転手の賃金体系変更について

⇒川崎市議会インターネット中継

<http://www.kawasaki-council.jp/>

■平成22年12月17日(定例会)

- ・障害者人権施設建設について
- ・出資法人「川崎化成(株)」の経営改善について
- ・コミュニティ交通のあり方について
- ・人事評価システム導入結果について

⇒第3期実行計画に位置づけ取組を急ぐ

⇒経営改善計画の検証
⇒道路運送法78条パスの研究と
有馬・東有馬コミュニティパスの要望
⇒給与表への影響の検証と
最高給与月額の要因チェック

■平成22年9月24日(決算審査特別委員会)

- ・出資法人築地衛生事業団の廃止について
- ・出資法人の現金出納における関係点と給与規定について

⇒PT設置と入札変更を行い早期に
採算合の予定

⇒給与規定の徹底化

■平成22年6月22日(定例会)

- ・委員の給与、手当てについて
- ・技能労働者の給与の民間に比べについて
- ・指名競争入札のあり方について
- ・ふれあい協賛支援事業とすこやか行動支援事業について

⇒住宅手当等の検証

⇒実際の情報公開
⇒北部市場の入札変更決定
⇒事業のあり方を検証

■平成22年3月9日(予算審査特別委員会)

- ・下水道事業中期経営計画について
- ・特別会の種別検討と派遣職員のあり方について
- ・入札での失格基準の新たな取組について
- ・防災対策事業にみる防災防災LED化について

⇒計画の検証

⇒入札契約制度改革の中で調査検討へ
⇒随上
⇒検討へ

■平成21年9月29日(決算審査特別委員会)

- ・(群)保健衛生事業団の廃止について

⇒廃止への道筋決定

■平成21年6月29日(定例会)

- ・バス路線の退出意向申し出について
- ・川崎線直通遊歩道事業について
- ・町会、自治会への加入促進条例の制定について
- ・川崎市小学校ふれあいサービスについて

⇒コミュニティバスの要望
⇒現在と過去の執行体制の検証
⇒実証と連携強化へ
⇒委託基準変更へ

■平成21年3月 予算審査特別委員会

(委員長就任の為、質疑立てず)
(委員長として平成21年度川崎市一般会計
予算ほか21件を審査)

■平成20年12月16日(定例会)

- ・川崎考古学研究所の文化財の保管強化について
- ・人事給与システムオープン化及びシステム連携基盤の活用について

⇒市民ミュージアムへの収録を急ぐ
⇒1200時間の作業時間削減や市民の
利便性向上の検証

■平成20年9月30日(決算審査特別委員会)

- ・投資事業における週休1日張り替え制度について
- ・公立はらばらでの健康診断について
- ・本質買替時の対応について

⇒約4万円の増減確認と異なる徹底へ
⇒経過措置へ
⇒不適切対応の再発防止へ

■平成20年8月24日(定例会)

- ・防災住居の防火体制について
- ・建築協定について
- ・地域ホームページについて
- ・情報システム全体最適化計画について

⇒定常ベルや防火前子の取り付けへ
⇒建築協定の更新支援へ
⇒検証
⇒処分基準を新たに設置

■平成20年3月31日(予算審査特別委員会)

- ・フリーメール等に適用する学生の適正運用について
- ・へこずみ対策と資金運用について
- ・橋ヶ谷トンネルへの防犯カメラ設置について
- ・市営グラブかわさき「ひろば」について

⇒基や他適等事業者と研究へ
⇒これまでの方針にとらわれない確かな運用へ
⇒3月末設置へ
⇒増刷に向け買戻も指出へ

■平成19年12月18日(定例会)

- ・水道事業及び水道料金の改正について
- ・保育事業について
- ・青色回転灯パトロールについて
- ・アメリカンソフトボール各団体の
まちづくりについて

⇒平成22年度からの料金軽減へ
⇒小規模認可保育所設置などの検証
⇒青色回転灯の貸し出し支援へ
⇒定期的な協議と取り組みへ

■平成19年9月28日(決算審査特別委員会)

- ・南沢小児病センターについて
- ・公共工事の遅れと契約解除について
- ・野川地区の住居表示について
- ・橋ヶ谷トンネルへの防犯カメラ設置について

⇒川崎市医師会令関係回と検討へ
⇒早急着工と明確な基準作りへ
⇒住居表示検討委員会の設置へ取り組む
⇒関連団体と再協議へ



議会での議論こそ皆様の
代弁者たる証です。
浅野文直は機会ある限り
議論を続けます!



守るべき人がいる
守るべき町がある

「あなたの視点」川崎市議会報告
討議資料

皆様の相談への結果一例

解決

●公園の設置

南野川に公園が少ないとの声に、近隣地権者に相談し、20年間の無償提供を受け、平成22年4月より供用開始。

継続中

●市道改修

老朽化した市道について、緊急補修をし、新年度予算にて本格改修。

解決

●開発行為トラブル

防音、粉塵対策がないとの近隣者からの要請に、業者と関係当局を立ち合わせ、即日対応へ。

新たな取組

●市境迷惑施設

墓地開発にストップをかけられなかったが、今後も同様な懸案が続かめように、住民の方々と両市に陳情活動中。

解決

●暴雨対策

緊急で下水管清掃後、新年度予算にて本格工事。

継続中

●通学路の安全確保

信号や横断歩道の設置が困難な場所は、ドットラインやカラー舗装を施す。

「あなたの視点」を教えてください。

川崎市や宮前区における
地域の問題や課題をお聞かせください。

子育て支援への要望をお聞かせください。



浅野文直

は、様々な手段で、皆様と対話します。
朝の駅頭演説や、インターネット、そして、節目節目に
皆様にお届けする川崎市議会報告も今回第24号を
数えるまでになりました。

それでも、今よりももっと、宮前の街に住む皆さんの声
が聞きたいと思っています。市政、市議会というと遠い
世界のようなのですが、街の困りごとやもっとこうしたら
いいのという思いを、たとえばこのアンケートはがきを
使って、ぜひお伝えください。

あなたの声を聞かせて!

POST CARD

お名前の横
線が50円切
手を入れて送
信ください。

216-0003

川崎市宮前区有馬6-6-7

川崎市議会議員

浅野文直 事務所行

あさのふみなお

川崎市政アンケート

お名前	男・女 (年齢 歳)
ご住所	(〒 -)
お電話	FAX
メール	

川崎市議会議員

浅野文直

プロフィール

昭和46年2月21日生まれ。現在40才

- 群馬県立渋川高校卒業、国学院大学法学部法律学科卒業。
在学中、原田義昭衆議院議員の書生として師事、実践の政治を学ぶ。卒業後、松崎正策自民党神奈川8区部長の秘書となり、宮前区の責任者として、すみずみまで歩きまわる。
- 平成11年4月川崎市議会議員に初当選。現在三期目。市民委員会委員。「自民党を考える若き地方議員の会」事務局長。川崎市防衛議員連盟 幹事長
- デイサービス介護施設代表
- 高校時代はボクシング部、大学時代は弁論部幹事長として、ディベート・弁論大会、全国遊説を敢行。趣味はトランペット、将棋。

切り取り線

発行：川崎市議会議員浅野文直事務所
〒216-0003川崎市宮前区有馬6-6-7
TEL:044-860-2370
FAX:044-860-2371
E-mail:asano@2370.net